

## 「研究データ利活用協議会」(RDUF) 平成 30 年度の活動総括

令和元年 9 月 30 日  
研究データ利活用協議会

平成 30 年度は、平成 29 年度に引き続き以下の 3 つの方針を掲げ活動を行った。

### 【「研究データ利活用協議会」平成 30 年度の活動方針】

1. 様々な知見やユースケースを共有し、関係者間のネットワークを構築・強化するための場をつくる。
2. 参加機関の現場の抱える関心事などについて検討し、その結果を「研究データ利活用協議会」の成果物（ガイドライン、ノウハウ集、事例集など）としてまとめることを目指す。
3. 普及・広報活動を強化し、「研究データ利活用協議会」のプレゼンス向上を図る。

この方針を受けて、具体的には次の活動を行った。

### 1. 関係者間のネットワークを構築・強化するための場の醸成

#### (1) 公開イベントの開催

表 1 に示す公開イベントを開催した。

表 1. 公開イベントの開催実績

項番	活動	日時
1	RDUF 公開シンポジウム ～研究データ利活用のさらなる促進のために～	平成 31 年 2 月 18 日 (月) 14:30-18:00
2	Japan Open Science Summit (JOSS) 2019	令和元年 5 月 27 日 (月) 5 月 28 日 (火)

RDUF 公開シンポジウムを開催した。また Japan Open Science Summit 2019 には協力機関として参加した (JOSS2019 は、NII、JST、NIMS、NISTEP、NICT、学術資源リポジトリ協議会 (Re\*poN) が主催した)。これらのイベントでは、様々な分野の研究者等が一同に介し、研究データの利活用について検討するコミュニティが形成された。

(2) メーリングリストを活用した情報共有やディスカッション

2種類のメーリングリストを運用した。表2にその活用実績を示す。

表2. 「研究データ利活用協議会」メーリングリスト

種類	アドレス	活用実績
情報共有	rduf-share@mr.jst.go.jp	43回
ディスカッション	rduf-discuss@mr.jst.go.jp	0回

メーリングリストでは、RDUFメンバーによって以下のとおり活発な情報共有が行われた。

① 関連イベントの紹介

- ・「オープンサイエンスの情報基盤－研究・実験データの保管・共有の推進方策」（開催日：平成30年8月21日、開催場所：剛堂会館（明治薬科大学））
- ・図書館総合展フォーラム「広げよう、データライブラリアンの輪」（開催日：平成30年10月31日、開催場所：パシフィコ横浜）
- ・「データサイエンス国際ワークショップ2018」（開催日：平成30年11月12日～15日、開催場所：三島市民文化会館）
- ・日本学術会議公開シンポジウム「科学データの保存・利用態勢の強化と国際展開」（開催日：平成30年11月19日、開催場所：日本学術会議）
- ・「対話・共創の場」（開催日：平成31年2月7日、開催場所：JST 東京本部別館）
- ・「Drexel-CODATA FAIR-RRDM Workshop 2019」（開催日：平成31年3月31日～4月1日、開催場所：Drexel University）
- ・「The GDPR and research one year on: experiences across Europe」Webinar（開催日：令和元年6月27日）
- ・「AAI2019」（開催日：令和元年7月7日～12日、開催場所：富山国際会議場）
- ・IUGG Assembly 2019「地球科学データのライセンス、生成、出版、引用」セッション（開催日：令和元年7月13日、開催場所：PALAIS DES CONGRÈS DE MONTRÉAL）
- ・「iPRES 2019」（開催日：令和元年9月16日～20日、開催場所：EYE Film Museum）
- ・「CODATA 2019 BEIJING」（開催日：令和元年9月19日～20日、開催場所：The Friendship Hotel of Beijing）
- ・「Open source Earth Observation Data Challenge 2019」

② 参考文書の共有

- ・ROIS「データサイエンス国際ワークショップ2018」予稿冊子公開のお知らせ

- ・ FORCE11 「FORCE2018」 参加報告
- ・ CODATA 「Open Up Guide for Agriculture- A guide for governments to open agricultural data」
- ・ FAIR 原則に関する参考文書

③ その他

- ・ DDI Alliance 「XKOSversion1.2」 リリース

ディスカッション用のメーリングリストは昨年度に続き活用されなかった。議論する土壌が整っていないことが考えられる。

## 2. 小委員会の設置等

特定のテーマについての議論を深め、研究データの利活用を図るために必要となる提言等のとりまとめを行うことを目的とした小委員会は、平成 30 年度は次のとおり活動した。

### 【平成 30 年度に活動した小委員会】

- ① データ管理計画 (Data Management Plan : DMP)
- ② 研究データのライセンス検討プロジェクト
- ③ 国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築
- ④ リサーチデータサイテーション (Research Data Citation : RDC)

国内の多様な公的機関や民間企業からのべ 71 名が参加し、研究データの利活用を図るために必要な提言等を取りまとめる基盤を形成した。

平成 30 年度における各小委員会の活動の詳細を以下に示す。

#### ① データ管理計画 (Data Management Plan : DMP)

委員長	谷藤 幹子 (物質・材料研究機構)
委員数	21 名
目的	DMP について、共有可能な基本的考え方を整理し、DMP が扱うべき内容について、標準規格提言として取りまとめる。
主な活動内容	国内各機関における研究データ管理の現状と課題を共有する。
小委員会開催等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年 10 月 2 日 (火) 「延長」決定 (活動期間：～平成 31 年 3 月 31 日)</li> <li>・平成 30 年 12 月 18 日 (火) 15:00-17:00</li> <li>・平成 31 年 3 月 31 日 (日) 活動終了</li> </ul>

	(小委員会開催 計1回)
その他	成果物の提出を依頼中である。

## ② 研究データのライセンス検討プロジェクト

委員長	南山 泰之 (東京財団政策研究所)
委員数	13名
目的	研究データの利活用においては利害関係者がデータにライセンスを付与し法的な相互運用性を明確にすることが重要である。本小委員会では研究データにどのようなライセンスを付与するのが適切かを探る。
主な活動内容	研究データのライセンスに係る先行研究の調査、研究者へのヒアリング調査、研究データのライセンスに関するアンケート調査を実施する。
小委員会開催等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月19日(水) 13:30-15:30</li> <li>・平成30年9月5日(水) 13:30-15:30</li> <li>・平成30年10月2日(火) 「延長」決定 (活動期間：～平成31年3月31日)</li> <li>・平成30年10月12日(金) 15:30-17:30</li> <li>・平成31年1月8日(火) 15:00-17:00</li> <li>・平成31年2月18日(月) 10:00-12:00</li> <li>・平成31年3月31日(日) <u>活動終了</u></li> </ul> (小委員会開催 計5回)
その他	活動成果として以下の提出を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究データ利活用協議会小委員会報告書</li> <li>・研究データのライセンス表示ガイドライン Executive Summary</li> <li>・ライセンスの整理表</li> <li>・インタビュー質問項目</li> <li>・アンケート調査票</li> <li>・Japan Open Science Summit 2018 セッション概要</li> </ul>

\*研究データライセンス小委員会に名称変更し、令和元年7月～活動を開始している (活動期間：～令和2年6月30日)。

## ③ 国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築

委員長	絹谷 弘子 (有限会社マーチャンと)
委員数	17名
目的	関係者の関心のあるトピックのいくつかについて議論する場を提供し、分野リポジトリ関係者の人的ネットワークを作る。
主な活動内容	委員の関心の強いトピックを選んで議論する場を作り、関係者の認識を

	共有し、共通する問題点と先進事例を集め整理する。
小委員会開催等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月4日(水) 15:00-17:00</li> <li>・平成30年7月31日(火) 10:00-12:00</li> <li>・平成30年8月30日(木) 10:00-12:00</li> <li>・平成30年9月27日(木) 15:00-17:00</li> <li>・平成30年10月2日(火) 「再設置」決定(活動期間: ~令和元年9月30日)</li> </ul> <p>ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク (Japan Data Repository Network : JDARN) へ名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年10月17日(水) 10:00-12:00</li> <li>・平成30年11月29日(木) 10:00-12:00</li> <li>・平成30年12月21日(金) 15:00-17:00</li> <li>・平成30年1月21日(月) 15:00-17:00</li> <li>・平成30年2月14日(木) 15:00-17:00</li> <li>・平成30年3月8日(金) 15:00-17:00</li> <li>・平成30年4月16日(火) 15:00-17:00</li> <li>・令和元年5月17日(金) 15:00-17:00</li> <li>・令和元年6月19日(水) 15:00-17:00</li> </ul> <p>(小委員会開催 計13回)</p>
その他	小委員会において作成した成果物をもとに内閣府の国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会において「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」が作成された。

#### ④ リサーチデータサイテーション (Research Data Citation : RDC)

委員長	能勢 正仁 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)
委員数	20名
目的	各ジャーナルにおけるデータ取り扱い(投稿規定等)の現状調査など、データ引用を取り巻く状況を把握する。さらに我が国における研究データ引用の実現に向けての人的ネットワークを作り、研究データ引用の付与に向けて立場を越えて議論可能な場を創設する。
主な活動内容	我が国における研究データ引用の普及に役立つ基礎的資料を調査する。
小委員会開催等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年1月 発足(活動期間: ~令和元年12月31日)</li> <li>・平成31年1月30日(水) 15:00-17:00</li> <li>・平成31年3月7日(木) 15:00-17:00</li> </ul> <p>(小委員会開催 計2回)</p>

### 3. 普及・広報の強化

#### (1) 外部発表

村山副委員長により、日本地球惑星科学連合 2019 年大会 (JpGU 2019) (令和元年 5 月 26 日～30 日開催) でのポスター発表が行われた。そのための準備を行った (別添 1)。

#### (2) チラシの配布

デジタルアーカイブ学会 (平成 31 年 3 月 15 日～16 日開催) および JOSS2019 において配布した。

### 4. その他

#### (1) 小委員会募集要項の改正

これまで小委員会の設置審査を 6 月と 12 月に開催していたが、年 2 回の開催では提案書の受領から審査までに時間を要する可能性があることなどから、審査開催時期を通年に改正した。

#### (2) 会員の状況

会員の状況は次のとおりである (令和元年 6 月 30 日現在)。リストを別添 2 に示す。

- ・機関会員 : 7 機関
- ・会員 : 147 名

－ 以 上 －